

第3回(仮称)地域活性化発信交流拠点基本計画策定検討委員会 議事録

1. 日 時:令和6年10月28日(月) 10:00~12:00
2. 場 所:三芳町総合体育館 会議室1
3. 出席者:八木信行委員、伊藤徹哉委員、宮田佳律委員、田畑和樹委員、飯塚結花委員、林伊佐雄委員(オブザーバー)、岡崎優委員(オブザーバー)、中島豪誠委員(オブザーバー)
事務局 総合調整幹 近藤拓一郎 道路交通課 課長 若林崇幸 主幹 古寺克行
主査 小原巴志 主任 白石直也
受託事業者 三井共同建設コンサルタント株式会社

4. 傍聴の可否について
検討委員会の傍聴を可とする。傍聴者 3名

5. 議 事:
 - (1)第2回(仮称)地域活性化発信交流拠点基本計画策定検討委員会実施報告
 - (2)導入機能について
 - (3)配置計画図(案)について
 - (4)今後のスケジュール

6.議事内容

【議事(1)について】

事務局より第2回検討委員会の実施報告を行い、質疑や意見の有無を確認。

<意見なし>

【議事(2)について】

前回までの検討委員会を踏まえ、求められる導入機能について説明し、質疑や意見の有無を確認。

- ・関東圏内で、世界農業遺産に認定されている地があるという点を積極的に活用・宣伝していくことが集客等に繋がるのではないか。
- ・コンセプトとして「農」だけを押し出すのではなく、消費者側の関心事項として「健康」や「食」といったキーワードと結び付けられるといい。
- ・研究拠点(産学融合拠点)の施設面積根拠が示されていないが根拠は必要と考える。
- ・防災機能について、屋根あり休憩所に設置予定のベンチは「かまどベンチ」を採用するなど、

防災関係のイベントで活用できるなど防災意識の向上が図れるとよい。

- ・堆肥となる落ち葉は、循環型農業において重要な役割を担うため、その役割について紹介するようなブース(パネル展示等)があると面白いのではないか。
- ・拠点周辺への移動を想定した場合、自転車やキックボードなどの電気モビリティの設置ができるとうい。
- ・「水」と「農」は重要な関係となるため、調整池の水を活用する施設や方法があるとよい。
- ・環境分野では「落ち葉」と並び「木炭」も効果的とされており、持続可能性を掲げていく場合には、木炭の利用についても検討していく必要があると考える。
- ・研究拠点(産学融合拠点)で実験等を想定する場合、水回りなどのインフラ整備が必要となり、想定施設面積では不足が生じる可能性があるため、必要となるインフラを独立させて設けるか、他の施設と統合するなどの検討が必要である。
- ・没入型シアターについて、大人向けの映像だけでなく子供も楽しめる映像があるとよい。また、周辺地域の幼稚園や小学校向けの遠足の場として活用も検討できるのではないか。
- ・飲食機能について、農家レストランのみ設定されているが、スイーツ等の軽食が購入できる施設も検討するべきではないか。
- ・温泉施設内のシャワーについて、利用者のターゲット設定は必要ではないか。
- ・三芳 PA(上り線側)利用者が拠点を利用する想定もするべきではないか。
- ・雑木林の中をペットと一緒に散歩できるようなルートがあると魅力的である。

【議事(3)について】

求められる導入機能から各導入機能の具体的な施設を固めつつ配置計画を提示し、質疑や意見の有無を確認。

- ・展望台の高さによっては眺望が望めない可能性もあるため、高さを考慮した検討が必要である。
- ・展望台の配置について、現状の配置では展望台からの眺望に駐車場が大きく映ると想定されるため、眺望を考慮して雑木林の中に展望台を整備することが望ましいと考える。
- ・体験農園を管理するための車両等が通行できる動線は必要である。

【議事(4)について】

事務局より今後のスケジュールについて説明し、質疑や意見の有無を確認。

<意見なし>

以上